

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-243184

(43)Date of publication of application : 27.09.1990

(51)Int.Cl.

A63H 3/52

A63H 9/00

(21)Application number : 01-300541

(71)Applicant : TAKARA CO LTD

(22)Date of filing : 18.11.1989

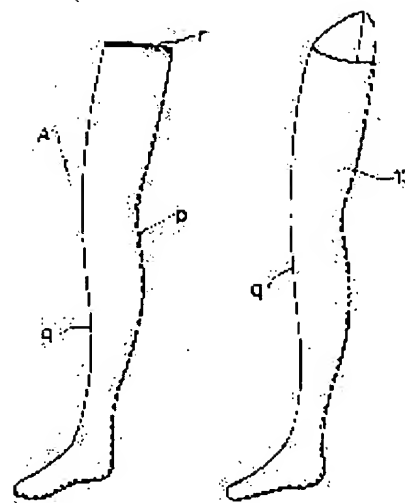
(72)Inventor : KOTAKE MICHIKO

## (54) MANUFACTURE OF DECORATION FOR DOLL

### (57)Abstract:

PURPOSE: To provide a decoration easy to manufacture and always fit a doll body by forming an flexible chemical fiber developed into a planar fashion and having a pattern symmetric with respect to a base line, folding the fiber and laminating the edge so that portions of the edges to be closed are bonded to each other.

CONSTITUTION: A stocking A is made into a predetermined pattern by punching or cutting a flexible chemical fiber material such as nylon. This pattern is of the stocking developed into a planar fashion and symmetrical with respect to the base line (q). Next, the pattern 10 is folded into two along the base line (q) and overlapping edges are fusion welded with each other by using a jig and template to form the stocking configuration. Since the material of the stocking A is flexible to provide a high responsive property to the body of a doll, so that even small errors caused by the patterning or fusion welding for example are absorbed by the flexibility of the material.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

THIS PAGE BLANK (USPTO)

## ⑫ 公開特許公報(A)

平2-243184

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>A 63 H 3/52  
9/00

識別記号

A  
T

庁内整理番号

6822-2C  
6822-2C

⑭ 公開 平成2年(1990)9月27日

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 人形用服飾品の製造方法

⑯ 特 願 平1-300541

⑰ 出 願 昭58(1983)8月26日

前実用新案出願日援用

⑱ 発 明 者 小 竹 美 智 子 東京都葛飾区青戸4丁目19番16号 株式会社タカラ内

⑲ 出 願 人 株 式 会 社 タ カ ラ 東京都葛飾区青戸4丁目19番16号

⑳ 代 理 人 弁 理 士 瀬 川 幹 夫

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

人形用服飾品の製造方法

## 2. 特許請求の範囲

下記工程からなることを特徴とする人形用服飾品の製造方法。

(イ) 伸縮性のある化学繊維によって構成された素材を所定のパターンに形成すること。

(ロ) 上記パターンは人形用服飾品を平面状に展開した形状で、且つ基線に対して線対称に形成されていること。

(ハ) 上記パターンを上記基線を中心にして折畳み、重なり合った端縁のうち閉じるべき部分を接着して服飾品形状に形成すること。

## 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は靴下、レオタード、手袋等の人形用服飾品の製造方法に関する。

(従来技術とその問題点)

従来から人形のボディにつける服飾品は、布

地素材を縫製したものが多い。しかしながら、着装対象が人形という小さいものであるため、縫製作業がむずかしいだけでなく、わずかな縫製誤差によっても人形のボディにフィットしなくなるので、不良品が生じやすい。したがって、縫製作業自体のコストが高いほか、不良率の点も併せると製品コストが高くなってしまいう欠点があった。したがって、製品化はショーツ等の欠くべからざるもののみに限定せざるを得なかった。

(発明の目的)

本発明は上記欠点を解決し、特に製造が容易で、常に人形ボディにフィットさせることができ、さらに多種類の服飾品に適用できる人形用服飾品の製造方法を提案することを目的とする。

(目的を達成するための手段)

すなわち、本発明に係る人形用服飾品の製造方法は下記工程からなることを特徴とする。

(イ) 伸縮性のある化学繊維によって構成された

素材を所定のパターンに形成すること。

(ロ) 上記パターンは人形用服飾品を平面状に展開した形状で、且つ基線に対して線対称に形成されていること。

(ハ) 上記パターンを上記基線を中心にして折畳み、重なり合った端縁のうち閉じるべき部分を接着して服飾品形状に形成すること。

(実施例)

以下、図面によって本発明の実施態様について説明する。

まず、第1図(a)はストッキングの例で、このストッキングAは同図(b)に示すように、ナイロン等の伸縮性のある化学繊維素材を型抜き、裁断等により所定形状にパターン化する。このパターンはストッキングを平面状に展開した形状で、且つ基線qに対して線対称に形成されている。

次に、上記パターン10を矢印のように基線qを中心にして2つに折畳み、重なり合った端縁(点線pで示された部分)をジグ、型(図示

接着でもよい。

また、上記ストッキングAの開口端部rを溶着すれば、この部分の素材繊維が凝固するから、伸縮しにくくなり、したがって人形に着装させたときに、ずり落ちることがない。短い靴下も第1図と全く同じ要領で製作することができる。

第2図(a)はレオタードの例で、このレオタードBは、伸縮性を有する化学繊維素材を裁断等により基線qをはさんで対称の形状にパターン化し、このパターン10、10'を基線qで折り曲げ、さらに第1図の例と同じ要領で点線p部分を熱溶着により接着したものである。

次に、第3図はショーツの例で、このショーツCも、伸縮性を有する化学繊維素材を基線qをはさんで線対称の形状にパターン化した一対のパターン10、10'を2つに折り畳み、端縁の部分pを接着してなるものである。

したがって、上記レオタードB及びショーツ

せず)等を用いて熱溶着してストッキング形状に形成する。

上記構成によれば、ストッキングAの素材は化学繊維なので、熱溶着が可能であり、このためストッキングAはパターン化工程と溶着工程のみによって得られ、しかも、パターンは基線qに対して線対称に形成され、基線を中心にして2つ折りした端縁部を溶着することにより容易且つ迅速に製造することができる。このため、製品コストを大幅に低減することができる。また、ストッキングAの素材は伸縮可能であるので、人形のボディに対する対応性がよく、例えばパターン化あるいは熱溶着において少しの誤差があってもこのような誤差は素材の伸縮性に吸収されてしまう。したがって、ストッキングAは常に人形のボディにフィットし、このため寸法誤差による不良率を解消することができる。

なお、パターン化された素材10は必ずしも熱溶着による接着に限定されず、接着剤による

Cの場合も、簡単なパターン化工程と熱溶着工程によって得られるから、製品コストを低減することができ、また上記工程においてパターン化作業や熱溶着作業に多少の誤差があっても、素材の伸縮性により、レオタードB及びショーツCは常に人形のボディにフィットし、このための寸法誤差による不良率を解消することができる。

(発明の効果)

以上詳しく説明したように、本発明に係る人形用服飾品の製造方法は、伸縮性のある化学繊維によって構成された素材を人形用服飾品を平面状に展開した形状で、且つ基線に対して線対称のパターンに形成し、該パターンを2つに折畳み、重なり合った端縁のうち閉じるべき部分を接着して服飾品形状に形成するものであるから、パターン化工程と2つ折りと接着の工程によって簡単に製造することができ、製造コストを大幅に低減させることができる。次に、上記素材は伸縮性のある化学繊維であるので、製造

## 第 1 図

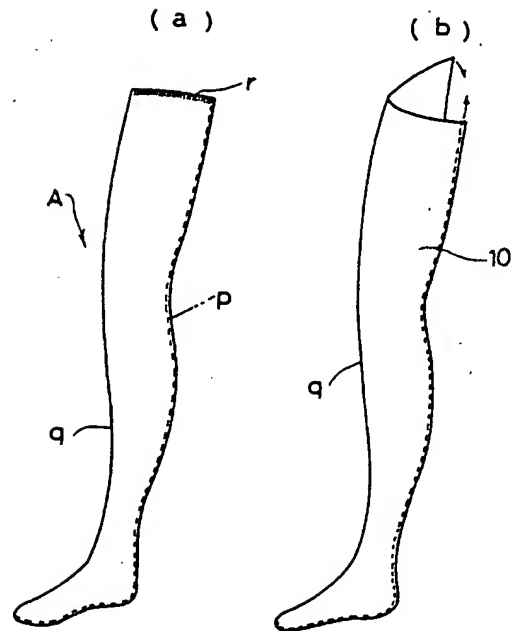
時において多少の寸法誤差があっても、その伸縮性によってその誤差を吸収することができ、常に人形用のボディにフィットさせることができる。したがって、製造時の寸法誤差による不良率はほとんど解消することができ、したがってこの面からも製品コストの大幅低減をはかることができる。

## 4. 図面の簡単な説明

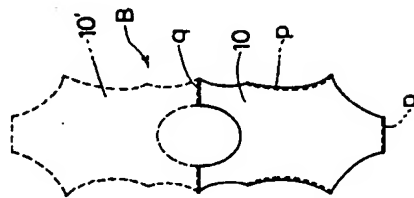
第1図(a)(b)は本発明に係る人形用服飾品の完成図及び製作態様図であり、第2図及び第3図はそれぞれ本発明に係る人形用服飾品の他の例の完成図及び製作態様図である。

符号A…ストッキング、B…レオタード、C…ショーツ、10、10'…パターン

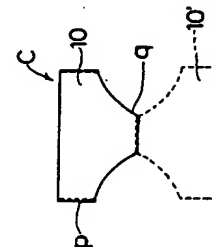
特許出願人株式会社タカラ  
代理人 弁理士 瀬川 幹 夫



第 2 図



第 3 図



THIS PAGE BLANK (USPTO)